

亜鉛



亜鉛の働きは、非常に多彩です。遺伝子の転写、酵素タンパクの高次構造の安定化、プロスタグランジンの代謝と反応性、細胞膜の安定、免疫ネットワーク、味覚・嗅覚の正常化、重金属の弱毒化、性ホルモンやインスリン等のホルモンの安定化と分泌などに関与しています。また、あらゆるクラスの酵素反応に関与しており、亜鉛と何らかの関係を持つ酵素は200以上に及びます。ヒトの生命活動にたいへん重要なミネラルです。

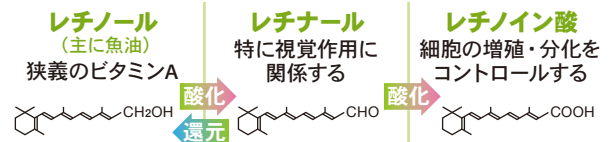
こんな方にお勧めします

- ▶ 血糖調節異常がある方
 - ▶ 風邪をひきやすい方
 - ▶ 糖尿病が心配な方
 - ▶ アルコールを飲む方
 - ▶ 皮膚にトラブルがある方
 - ▶ 爪の状態が気になる方
 - ▶ 抜け毛が気になる方
 - ▶ 成長期のお子様
 - ▶ 男性不妊が心配な方
 - ▶ 妊娠・授乳中の方
- など

ビタミンAの代謝にも亜鉛が必須!

レチノールからレチナールへの代謝経路には、Zn酵素であるアルコール脱水素酵素が関与しています。このため、亜鉛不足でビタミンA投与に反応しない夜盲をきたす場合があります。

ビタミンA (レチノイド) = 下記の総称



Topics

～血糖コントロールと亜鉛の深い関係～

血糖コントロールの異常は、糖尿病の入り口です。糖尿病は、単一の病気ではありません。インスリンの作用不足によって、全身の代謝の異常をきたす疾患です。最も顕著な代謝異常の現れは高血糖ですが、インスリンは糖代謝ばかりでなく、タンパク質や脂質、電解質の代謝にも関与しています。そのため、トータルな代謝異常がみられます。

亜鉛は、インスリンの構成成分である他、血糖コントロールに重要な役割を持つことがわかっています。

亜鉛はインスリンの合成、貯蓄、分泌において非常に重要です (Chausmer, 1998)。亜鉛不足は、①糖尿病患者における冠状動脈疾患などの合併症、および②高血圧や中性脂肪増加などの糖尿病のリスク要因に関与しています (Singh 他, 1998)。

Zinc: The Metal of Life. Authors Kuljeet Kaur, Rajiv Gupta, Shubhini A. Saraf, Shailendra K. Saraf. Comprehensive Reviews in Food Science and Food Safety. First published: 21 June 2014.

順天堂大学大学院医学研究科・代謝内分泌内科学の藤谷と士夫准教授、綿田裕孝教授らの研究グループは、マウスおよびヒトを用いた研究結果から、インスリンと共に膵β細胞から分泌される亜鉛が、肝臓でのインスリン分解を抑制することで、肝臓を通り抜けて全身に向かうインスリン量を十分に確保する新しい仕組みがあることを発見しました。この作用は、インスリン分泌顆粒内に亜鉛を汲み入れる亜鉛トランスポーター (ZnT8) の機能に依存しています。

The diabetes-susceptible gene SLC 30 A 8/ ZNT8 regulates hepatic insulin clearance. Journal of Clinical Investigation Volume123, Number10 October2013

原材料

ビール酵母 (亜鉛、マンガン、セレン、銅含有)、還元麦芽糖、ウコン、大豆多糖類、セルロース、クエン酸、ステアリン酸カルシウム

標準成分<1粒 (400mg) 中>

亜鉛 15 mg
銅 0.2 mg
マンガン 0.5 mg
セレン 20 μg
ウコン末 12 mg

サプリメントハイライト

亜鉛をベースに、酵素ラジカル消去酵素群の補酵素として必須の微量ミネラルを組み合わせました。亜鉛塩、銅塩、マンガン塩、セレン塩を各々タンク富化培養して得られたビール酵母を原料としています。当製品の主成分であるイースト亜鉛は、一般的に使用されるグルコン酸亜鉛と比較して生体利用率が高いことが健康者ボランティア対象の試験で報告されています。Clinical evaluation of the bioavailability of zinc-enriched yeast and zinc gluconate in healthy volunteers. Tompkins TA1, Renard NE, Kiuchi A. Biol Trace Elem Res. 2007 Winter;120(1-3):28-35
また、クエン酸により食事ミネラルの吸収アップを図っています。